

平成 29 年度 東京医科大学

「未来がん医療プロフェッショナル養成プランシンポジウム」・大学院特別講義を開催しました。

日 時： 2018 年 3 月 3 日（土）午後 2 時～4 時 45 分

会 場： 東京医科大学教育研究棟 3 階大教室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1 TEL. 03-3342-6111（代表）

主 催： 東京医科大学大学院医学研究科

同 未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

平成 29 年度 「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材」養成プラン」の一環として、平成 30 年 3 月 3 日（土）に東京医科大学教育研究棟 3 階大教室において『未来がん医療プロフェッショナル養成プランシンポジウム・大学院特別講義』が開催された。がん医療に関する様々な分野でご活躍の先生方にご講演を依頼し、東京医科大学でがん診療・研究に携わる多くの医師および医療従事者や大学院生が参加し活発な討論が行われた。

東京医科大学病院臨床腫瘍科教授 吉村明修先生の開会の挨拶の後、シンポジウムが開かれた。

最初に東京医科大学病院緩和医療部臨床教授 田上正先生の司会の下、北里大学 医学部附属新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門臨床腫瘍学教授 佐々木治一郎先生による「がんゲノム医療時代の緩和ケア～がん治療医が行う緩和ケア専門外来からみえてくるもの～」のご講演が始まり、がんゲノム医療における緩和ケアの重要性と緩和ケア専門外来が担う今後のがん治療への展望が紹介された。

続いて最新医療研究をテーマに、東京医科大学病院呼吸器外科教授 大平達夫先生の司会の下、日本医科大学 医学部（呼吸器内科学）教授 清家 正博先生による「バイオマーカーに基づく



肺癌個別化医療」をご講演頂き、現在肺癌治療でトピックスとなっている肺癌個別化医療の知見について詳しく解説して頂いた。

最後に東京医科大学分子病理学分野主任教授 黒田雅彦先生の司会の下、近畿大学医学部ゲノム生物学教室教授 西尾和人先生によるご講演「固形がんのクリニカルシーケンスの実装に向けて」が開催され、未来がん医療へ向けての研究の現状と取り組み、将来的な可能性について報告された。

活発な質疑応答が行われ盛会の内にシンポジウム・大学院特別講義は閉会した。

ご講演頂いた先生方と東京医科大学 鈴木学長、臨床腫瘍科 吉村教授 他

